

本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

無碍の一道 第91号

発行:2023年12月10日
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺
〒739-0147 住職 天野英昭
東広島市八本松西6丁目10番1号
☎・FAX 082-428-1360

除夜会並びに元旦会

日時 12月31日(日) 23:00~24:30

場所 天龍寺 本堂

御正忌(おたんや)法座

日時 1月16日(火)

ご講師 長岡 正信 師(呉市 西岸寺住職)

朝席 9時~11時頃

昼席 13時~15時頃



春季彼岸法座

日時 3月26日(火)

ご講師 堀 靖史 師(東志和 光源寺住職)

朝席 9時~11時頃

昼席 13時~15時頃



磯松天龍寺合同墓春季彼岸参拝

日時 3月20日(水) 15:00~16:00

第135回 歎異抄輪読会のご案内

日時 12月14日(木) 14:00~15:30頃

場所 天龍寺本堂

講師 松田 正典先生(広島大学名誉教授)

費用 500円 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です

ゆかり(縁)カフェ 1月27日(土) 14:00~15:30

心に残った言葉

【自然界の草花は、踏まれても花を咲かせる。】



「生死の苦海」をどこまでも流転する存在Ⅱ

悠久の歴史、人類 2000 年、4000 年の歴史を踏まえ私という存在を思いますと取るに足りない存在かもしれないと、近頃考える時があります。

確かに大きな視点から見ますと取るに足りない私という存在かもしれませんが、しかし、取るに足りないと思う存在でありながら、誰に見られるわけでもなく、評価もされるわけでもなく、ただ自然

界の木々、草花同様に、その日いただいた^{いのち}生命を自分なりに輝かせながら、娑婆の縁を去る瞬間まで、自分なりの人生を歩めたらとも思うことであります。

さらに話は大きく展開しますが、昨今の状況を鑑み思いますことに、グローバル化が進み、時代のスピードが年々加速し、AI(人工知能)の存在が、今後人間にとって大きな脅威になりうる時代

がそこまできており、一方でますます熾烈^{しれつ}を極めている競争社会の現在、さらに人類がこれまで経験したことの無い長寿社会を迎え思いますことに、役に立つ・役に立たない等の価値観等だけを持って生きていますと、なかなか生き苦しい時代に入っていると思うことであります。

それは『今日勝った人が、明日には負けており、20代、30代には必要とされていた自分が、40代、50代を迎えるとリストラの対象になる時代であり、また、今申しました長寿社会であり、自分自身も含め思いますことに還暦を過ぎ、体力・身体機能が衰えいきますと、そのような価値観等だけでは、自らの老いと向き合うことも難しいのかとも考えることもあります。

しかし、『あなたは、あなたのままでよい。』という絶対の世界からの呼び声の^{もと}基、決して自己満足ではなく『その時、その時のありのままの自分を、ありのままの自分として受け止めさせていただく価値観等』を幼少期から、ご教示いただいたことは、この年になり本当にありがたいと思うことでもあります。

いくら科学技術が発達し、医療技術が発達しても、人間も自然界の一部であり、自然の道理には逆らうことができないと思うことであります。だれしもいつかは枯れて散っていかなくてはならない存在であるとの点も還暦を過ぎしみじみ思うことでもあります。

残念ながら、娑婆の縁を去っていく瞬間まで、自分の意図しない・願わないご縁が続きますが、桜には桜の輝きがあり、バラにはバラの輝きがあり、道端に咲く小さな花には小さな花の輝きがあるように、皆さまにおかれましては、その時その時のご縁の中で、それぞれにその時に応じた自分な

りの^{いのち}生命の輝きを娑婆の縁を去っていく瞬間まで放ちながら、この厳しい現実の人生を歩まれますことを念じ申し上げます。(5年くらい前に書いた物を、少し手直し出させていただきました。)



今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。
来年も変わらぬお導きの程 よろしくお願い申し上げます。